

学校法人 専修大学

09年度決算概要

学校法人専修大学の2009年度決算は、5月26日開催の理事
会・評議員会で承認され、確定した。

本法人は、21世紀ビジョン「社会知性の開発」達成に向け、社
会の屋台骨を支える有為な人材の育成に努めると共に、骨太の大
学改革に取り組んでいる。09年度は、「専修大学創立130周年記
念事業」を種々展開し、大きな反響のなかで成功裏に終えるこ
ができた。また、三大学は、事業計画に基づき、教育研究力強化、
学生支援充実、社会への貢献活動充実及び経営基盤強化を推進し
た。

専修大学は、新学部等の開設準備を遂行し、10年度から人間科
学部を新設、文学部は7学科に再編することとなった。大学院商
学研究科も会計学専攻を新設、修士・博士後期課程共に2専攻制
となる。この改革により、建学の精神の新たな体現者が育まれ、
本学の躍動に弾みがつくと期待される。社会知性開発研究センタ
1では、6拠点が稼働し、シンポジウム等で研究成果を広く発信
した。また、生田1号館を完成させ、環境負荷の低減に寄与する

パソコンを約2000台導入する等、日本の大学を先導する施設
設備の整備にも尽力した。

石巻専修大学は、学生の学習意欲を喚起し、将来方向を示すべ
く、全学科にコース制を設けた。また、共創研究センターを設置
し、地域課題解決に向けた研究に取り組んでいる。さらに、自宅
通学支援パスの路線を拡大する等、学生の目線に立ち、かつ地域
に根ざした改革を推進させた。

北海道短期大学は、2学科共に(財)日本短期大学基準協会か
ら「地域総合学科」として適格認定された。また、地域連携によ
る専修大学ハスナッププロジェクトを本格化させる等、地域と共
にある教育を実践した(詳細な事業報告については、ホームペ
ジをご覧ください)。

今後、18歳人口の更なる激減が予測され、大学間競争は激しさ
を増すが、人間教育の場を次の世代へ継承するために、大学とし
ての品格を保ちながら、「社会知性の開発」に専心し、「大学改革
の時代」を乗り越えていく。

1 資金収支計算書

(1) 収入の部

収入の部では、当年度 収入合計が予算比8・88 %増の283億800万 円(前年度比では10・24 %の増)となり、前年度 繰越支払資金を加えた収 入の部合計では、予算比 6・73%増の366億1 576万円となっている (同10・48%の増)。	①学生生徒等納付金収 入は、予算比0・16%増 の207億9233万円 (同1・53%の減)。最 終在籍者が専修大学で 20126人、石巻専修 大学で1978人、北海 道短期大学で247人と なり、全体では2235 1人。最終在籍者数は、 前年度と比べて専修大学 で増、石巻専修大学・北 海道短期大学で減とな り、全体では72人の減と なっている。	②手数料収入は、予算 比16・07%増の11億45 75万円(同11・53%の 増)。このうち、入学検 料収入は、予算比16・ 44%増の6億7167 万円(同35・33%の増)。 内訳は、経常費補助金が 18億9734万円(同7 ・06%の減)、研究設備 補助金が3080万円、 教育研究装置補助金が1 億1785万円、経済産 業省補助金が46万円、施 設高度化利子助成金が2 52万円、大学改革推進 等補助金が1100万円 となっている。	③寄付金収入は、予算 比42・91%減の2億16 53万円(同10・20%の 増)。このうち、特別寄 付金収入は、予算比44・ 02%減の1億9930万 円。一般寄付金収入(09 年度入学生等の父母等によ る寄付金)は、予算比26 ・05%減の1723万円 となっている。	④補助金収入は、予算 比3・87%減の20億96 75万円(同2・44%の 減)。このうち、国庫補 助金収入は、予算比3・ 75%減の20億5999万 円(同2・00%の減)。 ⑤雑収入は、予算比16 ・44%増の6億7167 万円(同35・33%の増)。 このうち、退職金財団交 付金収入は、予算比15・
--	--	--	--	--

(2) 支出の部

支出の部では、当年度 支出合計が予算比0・52 %減の258億9322 万円(前年度比では4・ 13%の増)で、次年度繰 越支払資金は、翌年度の 収入となる前受金収入を 含む107億2553万 円となっている(同29・ 07%の増)。	①人件費支出は、予算 比0・92%増の143億 9451万円(同2・45 %の増)。差異は、教職 員の退職金支出の増等に よる。	②教育研究経費支出 は、予算比3・66%減の 65億5815万円(同2 ・24%の増)。予算比増 減の主なもの決算額、 要因等は以下のとおり。	③設備関係支出は、予 算比20・36%増の6億5 451万円(同76・65% の増)。このうち、教育 研究用機器備品支出は、 予算比38・91%増の3億 9045万円、差異は、 主として教育研究用コン ピュータに係るリース会 計処理変更等による。	④借入金等返済支出 は、予算比0・11%減の 48万円(1673万円の 減)。	⑤施設関係支出は、予 算比47・95%増の19億3 908万円(同108・00 %の増)。このうち土地支 出は、予算比642・00% 増の7億4200万円 で、差異は神田隣接地購 入による。構築物支出は、 予算比8・76%増の1億 3252万円、差異は 石巻専修大学雨天体育場 人工芝舗装工事等による。	⑥借入金等返済支出 は、予算比0・11%減の 48万円(1673万円の 減)。	⑦設備関係支出は、予 算比20・36%増の6億5 451万円(同76・65% の増)。このうち、教育 研究用機器備品支出は、 予算比38・91%増の3億 9045万円、差異は、 主として教育研究用コン ピュータに係るリース会 計処理変更等による。	⑧前記の資金収支計算 書と共通の科目があるの で、消費収支計算書特有 のものについて説明。
--	---	--	--	--	--	--	--	--

2 消費収支計算書

(1) 消費収入の部

消費収入の部では、帰 属収入合計(学校法人の 負債とならない収入)が 予算比0・29%増の26 億2349万円となっ た(前年度比では0・55 %)(1億4326万円) の増)。基本金組入額合 計が、予算比8・51%増 の22億1022万円(同 96・45%の増)となり、 消費収入の部合計は予算 比0・41%減の240億 1327万円(同3・77 %)(9億4188万円) の減)となった。	①寄付金は、予算比23 ・32%減の4億4427 万円(同1・17%の増)。 この中には、現物寄付金 等が含まれている。	②資産売却差額は、有 価証券売却差額で、予算 比0・04%増の148万 円。
---	--	---

(2) 消費支出の部

消費支出の部では、消 費支出の部合計が予算比 0・90%減の258億6 004万円(前年度比で は1・64%(4億169 9万円)の増)。	①人件費は、予算比0 ・92%増の143億94 51万円(同2・45%の 増)で、退職給与引当金 繰入額9億6708万円 を含んでいる。	②教育研究経費は、予 算比2・47%減の88億3 232万円(同1・74%の 増)で、減価償却額22億7 416万円を含んでいる。	③管理経費は、予算比 3・66%減の21億962 0万円(同0・85%の減) で、減価償却額2億59 32万円を含んでいる。	④資産処分差額は、予 算比401・90%増の1 億1355万円(同9・ 60%の減)。	⑤固定資産処分差額内訳 土地 16万円 (石巻専修大学校地の一 部を石巻市へ寄贈したこ とによる土地処分差額) 建物 7410万円 (生田1号館・4号館施 設備改修等の建物及び 建物付属設備処分差額) 構築物 617万円 (体育授業用生田ゴルフ 練習場、クレイテニスコ ート等の構築物処分差額) 教育研究用機器備品 2480万円 (2110点) 管理用機器備品 157万円(19点) 図書 671万円 (3382冊)
--	---	---	--	--	---